(2023年1月15日現在の内容) 住友化学の農業支援サイト:i 農力https://www.i nouryoku.com/

「イマゾスルフロン・ピラクロニル・` ベンゾビシクロン粒剤 農林水産省登録 第22500号

性 状:類白色細粒 毒 性:普通物

忍® 1 キロ粒剤

危 険 物:— 有効年限:5 年

包 装: 1 kg×12袋、4 kg×4袋、10 kg×1袋

有効成分: イマゾスルフロン ·········· 0.90% ピラクロニル ········· 2.0% ベンゾビシクロン ········· 2.0%

除草剤分類

「適用と使用法)

2,14,27

「住友化学農薬ガイド」の見方:i-農力サイトの「製品情報」、「農薬ガイドを見る」から、「農薬ガイドの見方」をご覧ください。 本剤の最新情報:こちらのORコードを読み取るとi-農力サイトに 掲載されている本剤の最新情報がご覧になれます。

10 アール 作物名 適用雑草名 使用時期* 総使用回数* 使用方法 当り使用量 田植同時散 -年生雑草 移植時 及び 布機で施用 多年生広葉雑草 移植直後~ 移植水稲 エゾノサヤヌカグサ ノビエ 2.5 葉期 アオミドロ・藻類によ ただし、移植後 る表層はく離 30 日まで 剤:1回 -年牛雑草 イマゾスルフロン: 2回 湛水散布 1 kg 及び ピラクロニル: 2回 又は マツバイ 稲1葉期~ ベンゾビシクロン: 3回 無人航空機 ホタルイ ノビエ 2.5 葉期 による散布 直播水稲 ただし、 ヘラオモダカ ウリカワ 収穫90日前 ミズガヤツリ まで ヒルムシロ セリ

Λ

効果・薬害等の注意

- ●使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- ●主要雑草に対する散布適期幅

| ホタルイ | 2葉期まで | コウキヤガラ | 発生始期まで |
|-----------|-------------|----------|--------|
| ウリカワ | 2葉期まで | シズイ | 草丈3㎝まで |
| ヘラオモダカ | 2葉期まで | アオミドロ・藻類 | 発生前まで |
| ミズガヤツリ | 2葉期まで | による表層はく離 | 光生削まり |
| エゾノサヤヌカグサ | 2葉期まで | | |
| ヒルムシロ | 発生期まで | | |
| セリ | 再生前から再生始期まで | | |
| オモダカ | 発生始期まで | | |
| クログワイ | 発生始期まで | | |

- ○本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5 葉期までに時期を失しないように使用する。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に使用するように注意する。
- ●散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3~5cm)で、まきむらが生じないように均一に散布する。また、極端な浅水や深水での使用はさける。
- ●散布後3~4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。また、入水は静かにおこなう。

(2023年1月15日現在の内容) 住友化学の農業支援サイト:i 農力https://www.i nouryoku.com/

- ●浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいにおこなう。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなう。
- ●本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守る。
 - ○散布は散布機種の散布基準に従って実施する。
 - ○専用の粒剤散布装置によって湛水散布する。
 - ○事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整する。
 - ○散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該 水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から 5 m離れた位置からほ場内に散布する。
 - ○水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意する。
- ●直播水稲で使用する場合、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意する。
- ●以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさける。
 - 〇砂質十壌の水田及び漏水の大きな水田 (減水深が2cm/目以上)。
 - ○軟弱な苗を移植した水田。
 - ○極端な浅植えの水田。
- ●著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえる。
- ●散布田の田面水を他の作物に灌水しない。
- ●本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意する。
- ●いぐさ栽培予定水田では使用しない。
- ●本剤は移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて 移植前に防除してから使用する。
- ●オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは 十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用 する。
- ●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に 初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けること が望ましい。

安全使用上の注意

- ●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- ●本剤は眼に対して軽度の刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- ●水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- ●無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意する。
- ●散布後は水管理に注意する。
- ●散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に 影響を与えないよう適切に処理する。
- ●直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

[品目特性]

- ●田植同時散布が可能です。
- ●SU抵抗性雑草に高い効果を示します。
- ●ノビエから多年生カヤツリグサ科雑草まで幅広く効きます。